

「舗装再生便覧（令和6年版）」正誤情報

〔令和6年6月12日更新〕

No.	頁	位置	原文	修正	備考	適用																																																																															
1	21	表-2.4.4		<p>「その他の品質」欄の 「安定性損失率20%以下」削除（1箇所）</p> <p>表-2.4.4 上層路盤に用いる再生路盤材料の品質</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>材料</th> <th>修正CBR %</th> <th>一軸圧縮強さ MPa</th> <th>マーシャル安定度 kN</th> <th>その他の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">舗装計画交通量 (台/日・方向) T<100、 信頼性50%の 舗装^(注1)</td> <td>再生粒度調整砕石</td> <td>80以上 [70以上]</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>PI 4以下</td> </tr> <tr> <td>再生加熱アスファルト 安定処理路盤材料</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.43以上</td> <td>フロー値 10~40 (1/100cm) 空隙率3~12%</td> </tr> <tr> <td>再生セメント安定処理 路盤材料</td> <td>-</td> <td>材令7日、 2.5</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>再生石灰安定処理 路盤材料</td> <td>-</td> <td>材令10日、 0.7</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">アスファルト 舗装</td> <td>再生粒度調整砕石</td> <td>80以上 [90以上]</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>PI 4以下</td> </tr> <tr> <td>再生加熱アスファルト 安定処理路盤材料</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.43以上</td> <td>フロー値 10~40 (1/100cm)^(注4) 空隙率3~12%</td> </tr> <tr> <td>再生セメント安定処理 路盤材料</td> <td>-</td> <td>材令7日、 2.9</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>再生石灰安定処理 路盤材料</td> <td>-</td> <td>材令10日、 0.98</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>再生セメント・瀝青安 定処理路盤材料</td> <td>-</td> <td>1.5~2.9</td> <td>-</td> <td>一次安定値 5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コンクリート 舗装</td> <td>再生粒度調整砕石</td> <td>80以上 [90以上]</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>PI 4以下 安定性損失率20%以下</td> </tr> <tr> <td>再生加熱アスファルト 安定処理路盤材料</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3.43以上</td> <td>フロー値 10~40 (1/100cm) 空隙率3~12%</td> </tr> <tr> <td>再生セメント安定処理 路盤材料</td> <td>-</td> <td>材令7日、 2.9</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>再生石灰安定処理 路盤材料</td> <td>-</td> <td>材令10日、 0.98</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>再生セメント・瀝青安 定処理路盤材料</td> <td>-</td> <td>1.5~2.9</td> <td>-</td> <td>一次安定値 5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔注1〕 舗装計画交通量（台/方向・日）T<100、信頼性50%の舗装は、交通量が少ない道路であり、舗装設計施工指針に示すN₁交通以下の道路に相当する。 〔注2〕 アスファルトコンクリート再生骨材を含む再生粒度調整砕石は、修正CBRの基準値に「」内の数値を適用する。ただし、40℃で修正CBR試験を行う場合は通常の値を満足すればよい。 〔注3〕 再生粒度調整砕石の素材として路盤再生骨材もしくは再生路盤材料を用いる場合のみPIの規定を適用する。 〔注4〕 コンクリート舗装に再生粒度調整砕石を用いた場合で、あらかじめ各種試験により路盤の支持力が確認されていれば、425μmふるい通過分のPIを6以下としてもよい。また、この場合で425μmふるい通過量が10%以下の材料ではPIが10のものまで用いることができる。 〔注5〕 交通量がN₁以下の場合には、フロー値の上限を50 (1/100cm) としてもよい。</p>	項目	材料	修正CBR %	一軸圧縮強さ MPa	マーシャル安定度 kN	その他の品質	舗装計画交通量 (台/日・方向) T<100、 信頼性50%の 舗装 ^(注1)	再生粒度調整砕石	80以上 [70以上]	-	-	PI 4以下	再生加熱アスファルト 安定処理路盤材料	-	-	3.43以上	フロー値 10~40 (1/100cm) 空隙率3~12%	再生セメント安定処理 路盤材料	-	材令7日、 2.5	-	-	再生石灰安定処理 路盤材料	-	材令10日、 0.7	-	-	アスファルト 舗装	再生粒度調整砕石	80以上 [90以上]	-	-	PI 4以下	再生加熱アスファルト 安定処理路盤材料	-	-	3.43以上	フロー値 10~40 (1/100cm) ^(注4) 空隙率3~12%	再生セメント安定処理 路盤材料	-	材令7日、 2.9	-	-	再生石灰安定処理 路盤材料	-	材令10日、 0.98	-	-	再生セメント・瀝青安 定処理路盤材料	-	1.5~2.9	-	一次安定値 5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上	コンクリート 舗装	再生粒度調整砕石	80以上 [90以上]	-	-	PI 4以下 安定性損失率20%以下	再生加熱アスファルト 安定処理路盤材料	-	-	3.43以上	フロー値 10~40 (1/100cm) 空隙率3~12%	再生セメント安定処理 路盤材料	-	材令7日、 2.9	-	-	再生石灰安定処理 路盤材料	-	材令10日、 0.98	-	-	再生セメント・瀝青安 定処理路盤材料	-	1.5~2.9	-	一次安定値 5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上		第2刷で修正
項目	材料	修正CBR %	一軸圧縮強さ MPa	マーシャル安定度 kN	その他の品質																																																																																
舗装計画交通量 (台/日・方向) T<100、 信頼性50%の 舗装 ^(注1)	再生粒度調整砕石	80以上 [70以上]	-	-	PI 4以下																																																																																
	再生加熱アスファルト 安定処理路盤材料	-	-	3.43以上	フロー値 10~40 (1/100cm) 空隙率3~12%																																																																																
	再生セメント安定処理 路盤材料	-	材令7日、 2.5	-	-																																																																																
	再生石灰安定処理 路盤材料	-	材令10日、 0.7	-	-																																																																																
アスファルト 舗装	再生粒度調整砕石	80以上 [90以上]	-	-	PI 4以下																																																																																
	再生加熱アスファルト 安定処理路盤材料	-	-	3.43以上	フロー値 10~40 (1/100cm) ^(注4) 空隙率3~12%																																																																																
	再生セメント安定処理 路盤材料	-	材令7日、 2.9	-	-																																																																																
	再生石灰安定処理 路盤材料	-	材令10日、 0.98	-	-																																																																																
	再生セメント・瀝青安 定処理路盤材料	-	1.5~2.9	-	一次安定値 5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上																																																																																
コンクリート 舗装	再生粒度調整砕石	80以上 [90以上]	-	-	PI 4以下 安定性損失率20%以下																																																																																
	再生加熱アスファルト 安定処理路盤材料	-	-	3.43以上	フロー値 10~40 (1/100cm) 空隙率3~12%																																																																																
	再生セメント安定処理 路盤材料	-	材令7日、 2.9	-	-																																																																																
	再生石灰安定処理 路盤材料	-	材令10日、 0.98	-	-																																																																																
	再生セメント・瀝青安 定処理路盤材料	-	1.5~2.9	-	一次安定値 5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上																																																																																
2	137	9行目	舗装用材料として満足されない性状が・・・	舗装用材料として満足しない性状が・・・		第2刷で修正																																																																															
3	148	表-5.5.2	<p>「項目」欄</p> <p>使用量 （セメント，石灰 アスファルト乳剤， アスファルト）</p>	<p>「項目」欄</p> <p>使用量 （セメント，石灰， アスファルト乳剤， アスファルト）</p>	石灰の後にカンマ「，」を追加	第2刷で修正																																																																															